

伊勢湾台風写真台帳



写真名称： 長島町白鷺の揖斐川左岸の粗朶沈床沈設作業(3)	現地状況、コメント等
エ リ ア： 三重県	〔被災体験を持つ元建設省職員の方の所見（座談会）〕 粗朶沈床を沈めるため、石を乗せているところである。 体験伊勢湾台風（建設省中部地方整備局、昭和 60 年）p144 に粗朶沈床についての解説がある。それによると、粗朶沈床とは、粗朶で縦横 1m の格子を造り、複数の格子をつなぎ、長さ 10～20m、幅 6～10m、厚さ 0.6～0.9m に組み上げたものとされている。これを堤防の破堤口に運び、石を投じて一気に沈める。上から土砂をかけると、粗朶沈床が砂の流失を防ぎ、水深を浅くすることとなる。なお、この作業を繰り返し、水面まで水深が浅くなってから、土のうを積み上げ、水切りするとされている。
撮影箇所： 長島町	
撮 影 日： 1959 年	
撮 影 者： 旧建設省	
資料提供者： 木曽川下流河川事務所	
状 況： ー	
撮影位置	